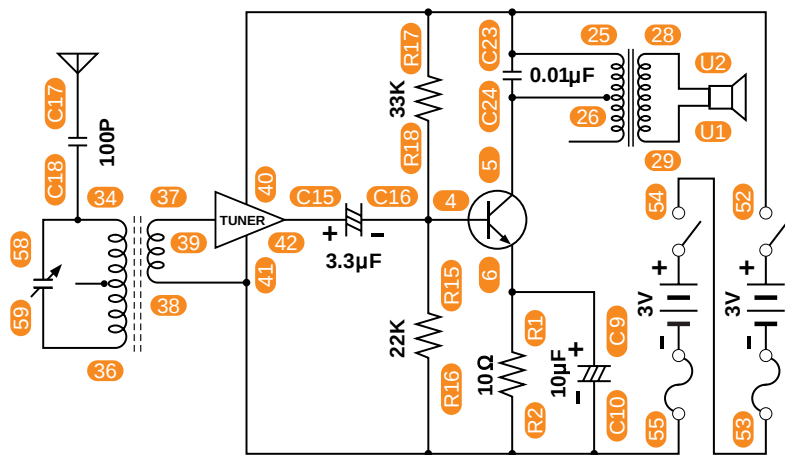


NO.102 ICチューナー + 1石ラジオ

ラジオの受信回路部分に専用のチューナーユニットを使い、スピーカーを鳴らすためにトランジスタ1石で低周波増幅しています。チューナーユニットは、アンテナコイルとバリコンを外づけするだけで、めんどろな調整もなく非常に簡単にラジオができあがります。現在の小型ラジオによく用いられている実用的な回路です。

チューナーICからはある程度増幅された音声信号が出てきますので、イヤホンがそのままつなげます。この回路では、実用的にスピーカーを鳴らすため、低周波増幅を行います。



配線順序

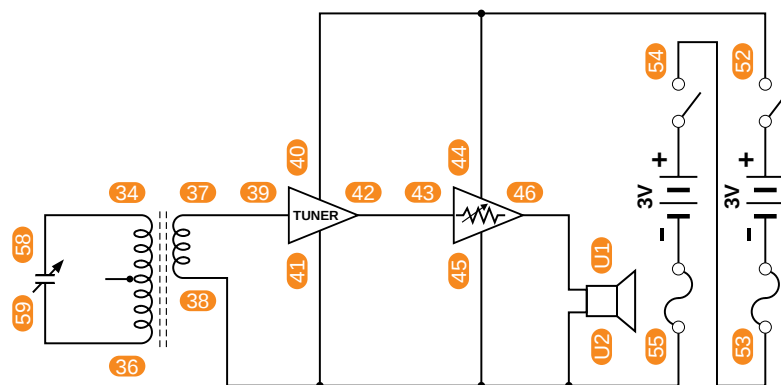
52-C23 C23-25 28-U2 U1-29 26-C24 C24-5
C23-R17 R17-40 37-39 34-58 59-36 34-C18
42-C15 C16-R18 R18-4 4-R15 6-R1 R1-C9
38-41 41-R16 R16-R2 R2-C10 C10-55 54-53
C17-アンテナ線

NO.103 高感度ICラジオ

ICチューナーとICアンプを使った高感度ラジオです。それぞれのICユニットへは、入出力信号と、電源配線を行うだけでできあがります。

みなさんがいつも使われているラジオも、ほとんどがこのようなかんたんな中身ででき上がっています。でも、ICの中身は、トランジスタ回路の組み合わせですので、これまでの実験をよく理解して、便利にICを使いましょう。

電源をONにし、ボリュームを適当な位置にあわせ、バリコンで選局します。うまく受信できないようでしたら、〔34〕にアンテナ線をつないでください。



配線順序

52-44 44-40 42-43 39-37 34-58 59-36
38-41 41-55 46-U1 45-55 U2-45 54-53